

答 辞

暖冬とはいえ、寒かった東北の冬は明け、春暖の気配漂う今日の佳き日。何かと世間は騒がしく、いやがおうにも巻き込まれていく僕たちですが、世間の煽りいざ知らず僕たちは至って今日も元気に学校に登校しました。

今日で最後の登校日。仙台城南高校に「さよなら」の挨拶をするため、仙台城南高校第5期生、私たち401名、いざ旅立ちの日。

本当はアリーナで最後のさよならコンサートを行いたかったのですが、きっと大勢の僕たちのファンが押しかけて、アリーナには入りきれない方々が出てしまうので、今日は慣れ親しんだ僕たちのそれぞれの教室で「さよなら仙台城南高校」を歌いたいと思います。

今日のこの卒業式のため、例年と変わらぬご高配を理事長先生始め、校長先生、先生方、保護者の方々、学校後援会、同窓会、他にも多くの関係各所様よりご祝辞、記念品を賜っております。

皆様、あたたかな卒業式を挙行していただき誠にありがとうございます。卒業生一同心から御礼申し上げます。

振り返れば三年前、地元中学から、全校生徒千名を超えるここ仙台城南高校に足を踏み入れた時の緊張は今でも忘れることはできません。高校入学は、僕たちにとって大きな岐路であったし、大きな決断でもあったり、各々の思いが複雑に交差して僕たちは出逢いました。

めくるめく城南ライフ。毎日怒られていたかもしれませんが、僕たちは誰もが一度吹っ切れた感のある卓越したユーモアパフォーマーであり、そして教室でみんなでいつも笑っていた三年間でした。

元気いっぱい僕たち五期生。誰も見てないと思ってやってみたら見事にバレていく展開。部活だって、話が違うじゃないかと何度も心の中で叫びながら走った日々も懐かしい。

サッカーが好きで、野球が好きで、ハンドボールが好きで、楽器が好きで、友達が好きで、実に趣味をエンジョイした三年間。

みんなとバカ騒ぎしては先生方に追われる日々。僕たちはすっかり甘えて楽しんでいました。それができたのも、仙台城南高校という、あたたかな懐の中で守られていたからだ。卒業生一同より感謝の念でいっぱいです。

僕たちは明日からそれぞれの道を歩きます。横には変わらない友の顔があります。一人だけ一人ではない意味を胸に刻み、消えない悲しみもそっと胸におさめて、僕たちはこれからもずっと、きっと強く笑いながら歩いていく。

仙台城南高等学校 ありがとう 仙台城南高等学校 さよなら
仙台城南高校がここ八木山でいつまでも僕たちを見守ってくれるふるさとであり続けま
すように
胸いっぱいのお礼を込めて答辞とさせていただきます。

令和二年三月一日 仙台城南高等学校 第五期生徒会長 小嶋悠生